

解を尋ねる。

答

森林環境税については、創設された平成19年度から27年度までに市民が納めた総額は約1億8,000万円であり、これまでに森林学習、里山を利用した活動、バイオマス加工施設への未利用材の運搬などへの助成事業に活用されている。また、今後の取り組みについては、ホームページなどにより環境税の趣旨や取り組み事例等の広報に取り組みほか、環境税を生かした事業について、研究し実施したい。

教育・文化・スポーツ

長崎の教会群とキリスト教関連世界遺産



●中瀬昭隆議員

昨年、大村のキリスト教史跡の見学のため、韓国から訪問団が来られた。日本初のキリシタン大名大村純忠の地元で、巡礼の地に指定されている本市に禁教時代を示すものがないとは考え難い。本市にとって、キリスト教の歴史は大村の歴史そのものである。

白島の亀瀬が純忠の墓である可能性もあり、もっと積極的に史跡の検証や県、担当機関への働きかけが必要ではないか。

答

世界文化遺産の登録基準については、世界的に貴重な価値を示す有形の不動産とされている。大村のキリシタンの歴史は、重要な意味を持つが、厳しい禁教の歴史のため、キリシタンに関するものは破壊されており、跡地では対象とならない。県は、今後、登録遺産だけではなく、関連資産も含め、保存・継承や活用を図っていく方針を示しているため、県に対し、大村の歴史遺産を重要な文化財として位置づけるよう、働きかけを行いたい。

市内小中学校のトイレの洋式化と整備目標は



●山北正久議員

学校のトイレは、「臭い・汚い・怖い・暗い・壊れている」ことから「5K」と呼ばれている。教職員を対象として行われた学校設備要望調査におけるトイレの改修は59%にも上る。さらに、一般家庭での主流は洋式トイレであるが、全国の小中学校にあ

る約140万個の便器のうち、洋式トイレの割合は43%である。市内の小中学校のトイレの洋式化率と今後の目標について尋ねる。

答

本市の学校トイレの洋式化率は、43.3%となっている。また、今後の整備目標等については、現在、設定していないが、各学校で洋式化率に差があるため、まずは、洋式化率が低い学校を優先するなど、計画的な整備を進めたい。

3学期制移行へのアンケート調査について



●古閑森秀幸議員

2学期制の継続か3学期制への移行かを尋ねたアンケート調査が実施されたが、その内容はどのようなものだったのか。また、集計結果の発表はいつごろになるのか尋ねる。

答

アンケート調査については、2学期制、3学期制のどちらがいいのかを、理由等も含めて尋ねる内容となっており、結果については、平成29年5月ごろに公表する予定である。

中学校の武道に銃剣道を取り入れてはどうか



●三浦正司議員

銃剣道は、「人間形成」を目的とし、安全で比較的技術の習得が容易で、シンプルかつ奥が深く、経済的であり、指導者の養成体制が確立されているなどの特性を持っている。ここ大村は、国体で2年連続総合優勝するほか、多数の全日本優勝大会の優勝者や全日本銃剣道選手権者を有していることから、中学校の武道に銃剣道を採用するには最適であるため、ぜひ検討してほしいか。

答

銃剣道の採用については、学習指導要領において、柔道、剣道、相撲のうちの1種目を選択し履修することになっており、その解説では、地域等の実態に応じ、その他の武道も履修できると記載されている。ただ、本県においては、男女履修が困難なことなどから、銃剣道を採用している学校がない。現段階での採用は困難であるが、国で実施されている学校体育としての銃剣道の研究等の動向を注視し、本市でも研究を重ねたい。